



# 南東北

- ・一般財団法人脳神経疾患研究所
- ・社会福祉法人南東北福祉事業団
- ・医療法人社団三成会
- ・医療法人社団新生会
- ・医療法人財団健貢会
- ・社会医療法人将道会
- ・医療法人謙昌会

第332号

院是「すべては患者さんのために」

URL:http://www.minamitohoku.or.jp  
E-mail:pr@mt.strins.or.jp

## あなたの「人生会議」始めませんか？

### 幸せな「人生の最終ステージ」を考える

## 9月医学健康講座

人はだれもが人生の終末を迎えます。そのようなときに自らが望む医療やケアを受けるためには、前もって家族や信頼できる周囲の人たちと話し合っておくことが大切なようです。そうした取り組みを「人生会議」と呼び、厚労省も勧めています。

9月20日(金)に総合南東北病院で開かれた医学健康講座では南東北第二病院外科医長の佐藤直先生が「あなたの『人生会議』始めませんか？」と題して講演しました。講演内容を要約して紹介します。

「人生会議」という言葉をご存知でしょうか。ACP(ア



「人生会議」について語る佐藤直先生

ドバンス・ケア・プランニング)の愛称で、「終末期に納得した人生を送ってもらうこと」を目標に、意思決定能力が低下する前に患者や家族が望む生き方を医療者と共有し、事前に話し合っながら計画するプロセスを言います。

厚労省がACPの取り組みを国民に広く浸透させようと、愛称を募集し、昨年11月30日に選定結果を発表しました。

## 前もって考え、話し合う

### 自らが望む終末の医療やケア

併せてこの日を「いい看取り」「いい看取られ」の語呂から「人生会議の日」と定めました。「もしものときのために、自分が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組み」が「人生会議」です。

■早期からの緩和ケア  
本日は「緩和ケア」「患者と医師のコミュニケーション」「ACP」の三つの項目を柱にお話ししたいと思います。

緩和ケアについてWHO(世界保健機構)は「生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より、痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな(霊的な・魂の)問題に関して、きちんとした評価を行い、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)生活の質、生命の質を改善するためのアプローチ」と定義しています。

ホスピスケアもほぼ同じ意味ですが、日本では緩和ケアという呼び方が多く用いられるようになりました。ここで言う苦痛とは、単に身体的な痛みだけではなく、社会的、精神的、スピリチュアルな苦痛もあります。それらを包括して全人的な痛み(トータルペイン)と呼びます。

そうした痛みに対して現代の緩和ケアは医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、管理栄養士、リハビリ療法師、ソーシャルワーカー、宗教家など、さまざまな職種の方が関わりチームで対処します。

がん患者に対する緩和ケアは、かつては治療期が終わって終末期を迎えた段階から行っていました。しかし、現在は治療の始めから取り入れ、抗がん剤投与の前に痛みを取る治療が行われます。早い段階から緩和ケアを行うことで、体力の消耗が抑えられ、抗がん剤治療の効果が上がる

とされています。そして患者さんが亡くなられた後は家族へのケアも行います。

### ■医師と患者の関係

患者さんと医師の間ではコミュニケーション不全となる場合が少なからずあります。医師の説明不足、態度や言葉

### 今月号のなかみ

- ▶ 2面 = 1面のつづき、健康生活情報ナビ「ビタミンとミネラル」、最近よく聞く言葉
- ▶ 3面 = シベリアの臨床医学研究所と国際医療協定締結、ワンポイント・ヨガ、こども学園保育士募集
- ▶ 4面 = 施設だより、インフルエンザに備えよう、がん陽子線治療実績、当院の目標
- ▶ 5面 = 「救急の日」啓発イベント、おれんじかふえ・うめざわ3周年、ネットで初診予約できます
- ▶ 6面 = ねこ背は身体に悪影響、専門外来「スポーツ整形」、まもなくコール活用解消、増子輝彦さんのコラム、11月の医学健康講座、9月の手術件数・救急車台数
- ▶ 8面 = 食の豆知識、薬局だより、編集後記